

Josai University

# 城西大学経営紀要

2021年3月 第17号

## 論文

新型コロナウイルス禍における大学スポーツが受けた  
影響と城西大学の対応について……………佐々木達也（1）

城西大学における新型コロナウイルス  
感染症拡大に伴う緊急事態宣言下  
における学生の健康意識と運動の実態……………篠原 康男, 佐々木達也  
石倉 恵介, 櫛部 静二  
平塚 潤, 高柿 健  
長澤 淑恵, 山口理恵子（21）  
千葉 佳裕, 二橋 元紀  
東海林 毅, 難波 秀行  
北 徹朗, 小林 勝法

大学体育系クラブ活動におけるスポーツ  
外傷・障害に関する実態調査……………二橋 元紀, 櫛部 静二  
長澤 淑恵, 千葉 佳裕（43）  
東海林 毅, 柴沼 真

大学生サッカー部におけるオフザピッチの活動が  
競技力向上に与える影響の検討……………東海林 毅（69）

情報化社会における中間組織と公共性, そして  
制度に関する覚え書き：  
2020年コロナ禍に直面した社会を考える……………辻 智佐子  
辻 俊一（87）  
渡辺 昇一

## 教育実践研究

対面・オンラインのハイブリッド型式による大人数授業の  
取り組み……………石井 龍太（125）

大学生は基礎知識をどこまで理解しているか  
——授業における数学・社会テストからみた一考察——……………小野 正人（159）

2020年経営学部教員業績リスト

城西大学 経営学部

# 城西大学経営紀要

第 17 号

2021 年 3 月

城 西 大 学

## 2020年経営学部教員業績リスト

**石井 龍太**

『ものがたる近世琉球 喫煙・園芸・豚飼育の考古学』吉川弘文館

「琉球諸島における多重境界性集落に関する事例研究 — 沖縄県南城市底川村跡発掘調査報告 —」, 『日々の考古学 3』六一書房, 177-187 頁

「首里城正殿の屋根変遷」, 『城西大学経営紀要』第 16 号, 157-180 頁

**石倉 恵介**

「運動が及ぼす骨格筋・血中タウリン濃度への影響」, 『タウリンリサーチ』6(1), 65-68

「LDH isoenzyme 5 is an index of early onset muscle soreness (EOMS) during prolonged running」 (Katsuyuki Tokinoya, Keisuke Ishikura, Yasuko Yoshida, Song-Gyu Ra, Takehito Sugawara, Atsushi Aoyagi, Yoshiharu Nabekura, Kazuhiro Takekoshi, Hajime Ohmori.), Journal Sports Med Phys Fitness. 18, 115-121 頁

「Relationship between early-onset muscle soreness and indirect muscle damage markers and their dynamics after a full marathon.」 (Katsuyuki Tokinoya, Keisuke Ishikura, Song-Gyu Ra, Kei Ebina, Shumpei Miyakawa, Hajime Ohmori.), Journal of Exercise Science and Fitness., 60(7), 2020-2026 頁

**伊関 友伸**

「自治体病院の統合・再編を考える — 新型コロナウイルスの蔓延をふまえて」, 『地方議会人 2020年6月号』中央文化社, 8-12 頁

「わが国の病院を再生するために何が必要なのか — 新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえて」, 『病院 79 巻 7 号』医学書院, 502-507 頁

「新型コロナウイルス感染症と自治体病院」, 『公営企業 2020年12月号』地方財務協会, 4-20 頁

**上村 聖**

「物流センターの生産性に関係のある職場の条件に関する一考察 — 流通業 Z 社のピッキング工程の事例から」 (上村聖, 黒川久幸, 麻生敏正), 『日本物流学会誌』第 28 号 日本物流学会, 77-84 頁

「倉庫内作業プローブシステムにおける姿勢分析と動作分析」 (麻生敏正, 黒川久幸, 上村聖),

『日本物流学会誌』第28号 日本物流学会, 101-108頁

「トラック事業者の生産性と現場管理者の特性との関係性に関する研究」(上村聖, 黒川久幸, 久保田精一, 土井義夫), 『第37回日本物流学会全国大会研究報告集』日本物流学会, 17-20頁

#### 櫛部 静二

「低酸素下トレーニングでの魚油濃縮物摂取によるヘモレオロジー的検討」(櫛部静二, 小林悟, 新井尚之, 浜崎景, 野部浩司, 竹之内康広, 柴祥子, 大竹一男, 白幡晶, 加園恵三), 『脂質栄養学』2020年29巻2号 日本脂質栄養学会, 127-135頁

#### 栗田るみ子

「Zoomで集う初めてのプロジェクトマネジメント」, 社会人基礎力協議会 第1回研究会, 2020年7月29日

「“ERASMUS+,” ICT education Japan”, 12/11/2020 and 24/11/2020, Mykolas Romeris University, LT VILNIUS, Eurasia Foundation (from Asia)

「PMBOK: 童話『うさぎとかめ』のゴール設定術を洗い出す」, 社会人基礎力協議会 第2回研究会, 2020年11月25日

#### 佐々木達也

「第2章 プロスポーツの集客」『地域スポーツ論』, 晃洋書房, 17-43頁

「プロフェッショナル経営者によるJクラブ変革: V・ファーレン長崎の経営危機と昇格に関する事例研究」, 『スポーツ産業学研究』第30巻4号, 401-413頁

「Jリーグクラブのジュニアユース選手選抜に関する研究: 体力・運動能力に着目して」(津田龍佑, 宮口和義, 佐々木達也), 『北陸体育学会』第56号, 3-8頁

#### 志田 崇

「アジアにおける脱炭素社会実現に向けた協同政策の考察——ネットワーク理論からみたドイツ電力業界の取り組みを事例として」, 2020年9月27日, 環境経済・政策学会 2020年度全国大会

「日本におけるEPR政策効果可能性の検討——コレクティブ・インパクトの視点から」, 2020年11月20日, 環境経営学会 2020年度秋季研究報告大会

「日本におけるEPR政策効果可能性の検討——コレクティブ・インパクトの視点から」, 『環境経営学会 2020年度秋季研究報告大会報告論文集』, 14-17頁

**篠原 康男**

「疾走速度変化からみた疾走能力の評価」(篠原康男・前田正登),『陸上競技研究』第121号,公益社団法人日本学生陸上競技連合,2-14頁

「短距離走スタートにおけるスターティングブロックへの構え方と加えられた力に関する検討——フットプレートの左右幅に着目して——」(篠原康男・前田正登)2020年9月20日 第26回日本バイオメカニクス学会大会,学会テーマ:You'll Never Walk Alone

「傾度が異なる走路を疾走する際のパワー発揮特性に関する検討」(篠原康男・鳥取伸彬・前田正登)2020年12月20日 第33回日本トレーニング科学学会大会,学会テーマ:トレーニング科学のサイクルをまわす

**柴沼 真**

「フットサルの取り組み 大会編 フットサル大会テクニカルスタディ JFA 第25回全日本U-15フットサル選手権大会」『JFA Technical News』96号,公益財団法人日本サッカー協会,58-62頁

「教職履修者に対する双方向的指導実践の報告. ——GOOGLE CLASSROOMを活用して——」『大阪成蹊教職研究』2,大阪成蹊大学,59-63頁

「日本人にとっての宗教教育 ——キリスト教教育の受容を中心に——」2020年9月21日,日本キリスト教教育学会理論的基礎研究部会

**杉岡 直人**

「グローバル化の手段としての和製M&A——その〈巧拙〉の評価について」,『城西大学経営紀要』第16号,91-115頁

**杉本 理**

「Transition of category of occupations among routine, non-routine, and manual based on O\*Net skill requirement over time」March 18, 2020『Proceedings of 2020 WRSA & PRSCO Joint Meeting』2020 Edition, Western Regional Science Association

**高柿 健**

「高校野球フィールドマネジメント4.0——「武士道野球」と「スポーツ野球」の信念対立の克服を目指して」,『城西大学経営紀要』第16号,城西大学経営学部,145-155頁

「スポーツの「フィールドマネジメント」と「倫理」」,『経営倫理』第99号 経営倫理実践研究

センター 31-35 頁

「勝者のインテリジェンス」2020年11月27日, 秋田県高校野球連盟指導者講習会・監督会議

#### 田部 溪哉

「広告で訴える『熱意』が消費者をどう動かすか：熱意の表明がブランド評価に及ぼす影響」, 『日経広告研究所報』第312号, 日経広告研究所, 76-79頁

#### 千葉 佳裕

「400 m ハードルにおける競技パフォーマンスと体幹部及び踏切脚に於ける大腿部の筋横断面積との関係」(吉本隆哉, 千葉佳裕, 為末大, 大沼勇人, 谷中拓哉, 松林武生, 杉崎範英, 磯繁雄, 山崎一彦), 『体育学研究』第65巻, 一般社団法人日本体育学会, 495-505頁

#### 張 紀濤

「外国人技能実習制度とその課題」(張紀濤・張一成) 『The Josai Journal of Business Administration』第16巻第1号, 9-14頁

#### 張 姣

「業績予想の難しさが業績予想の精度に与える影響」, 『The Josai Journal of Business Administration』第16巻第1号, 城西大学, 49-60頁

#### 塚本 成美

「ドイツ経営社会学の成立と理論特性」, 『城西大学経営紀要』第16号 城西大学経営学部, 27-89頁

「高齢者就労の社会的意義 — 高齢者の社会的包摂とシルバー人材センターの理念」, 『労働の科学』2020年10月号特集号 大原記念労働科学研究所

「シルバー人材センター運動の原点と新たな役割」2020年7月6日, 公益財団法人東京しごと財団令和2年度第1回シルバー人材センター会長会議講演

#### 辻 智佐子

「19世紀末から1920年代におけるアメリカの経済と教育の制度設計に関する一考察」, 『城西大学経営紀要』第16号, 城西大学経営学部, 2020年3月, 117-144頁

「1960年代以降の二大タオル産地(今治・泉州)における実用新案・意匠の出願状況とタオルメー

カーへのアンケート調査結果」、『現代社会研究』第17号，東洋大学現代社会総合研究所，2020年3月，35-52頁

「戦前期今治タオル工業の発展と公設試験研究機関における技術者の役割：菅原利鏝の事例から」、『経営史学』第55巻第2号，経営史学会，2020年9月，3-26頁

#### 長澤 淑恵

「指導者のあり方 第2回②」、『ソフトボールマガジン』2020.8月号，ベースボールマガジン社，64-65頁

「リーダーの育成 第5回②」、『ソフトボールマガジン』2020.11月号，ベースボールマガジン社，72-73頁

#### 山口理恵子

「第9章「サムライ」とプーさん：「羽生現象」から見る日本代表の「男らしさ」」、『日本代表論：スポーツのグローバル化とナショナルな身体』（有元健・山本敦久編著）せりか書房，184-202頁

「スポーツとジェンダー：スポーツの〈これまで〉と〈これから〉」2020年8月30日，葛飾区男女平等推進センター『女性活躍 いま むかし』（講演会統一テーマ）

※業績リストは，経営学部教員が2020年1月1日から12月31日までに発表した著書，論文，学会報告，講演，その他研究に関する活動等のうちから3点を提供していただき，紀要編集委員会が作成したものです。

## 「城西大学経営紀要」投稿規程

平成17年6月10日 施行

平成20年9月10日 改訂

平成23年1月21日 改訂

平成27年7月17日 改訂

### 第1条 趣旨

城西大学経営学部の研究の実績と教育効果を学部学生及び広く社会に広報し、当該学部の発展に寄与するために「城西大学経営紀要」（以下「紀要」という）を編纂する。

### 第2条 管理

「紀要」の管理・運営は教授会の議決を経て行い、「紀要」の編集等に関する実務は「経営学部紀要編集委員会」（以下、「編集委員会」という）が担当する。

### 第3条 投稿資格

(1) 「紀要」に投稿できる資格を有する者は次の各号に掲げる。

- ① 本学経営学部専任教員
- ② 本学非常勤講師
- ③ 「編集委員会」の許可を得た本学他機関（学部およびセンター所属）教員

(2) 前項①で共著の場合も原則として認めるものとする。

### 第4条 投稿原稿

(1) 投稿原稿は、広義の経営学に関するテーマで、日本語又は英語で書かれた未公刊の「学術論文」、「研究ノート」、「教育実践研究」、「翻訳」、「資料」、「書評」および紀要編集委員が認めたものに該当するものとする。

(2) 投稿宛先は、編集委員長とする。

### 第5条 著作権と著作物

(1) 本著作物の「紀要」に関する著作権は、著作者に帰属されるが、本「紀要」に限定して別紙「紀要の著作権に関する承諾書」を交付する手続をした場合は城西大学に帰属するものとする。

(2) 前項において、学部を離職等の場合も、本「紀要」には適用する。

(3) 前1項の手続きを得ない場合には「紀要」に掲載されないこととする。

### 第6条 他機関への投稿

本「紀要」に掲載された著作物を他の出版物に転用する場合は、予め「編集委員会」にその

旨を記した書類を提出し了承を得ることとする。

#### 第7条 掲載の採否

- (1) 本「紀要」への投稿原稿の採否は、「学術論文」については「編集委員会」が委嘱するレフリーの審査に基づき、「編集委員会」が決定する。
- (2) 前項以外のものについては、「編集委員会」が決定する。
- (3) 掲載の順序及び体裁については、「編集委員会」が決定する。

#### 第8条 原稿料等

- (1) 原稿料は支払わない。ただし、30部の抜き刷りを贈る。
- (2) 前項で30部を超えた部数を必要とされる場合には、当該分の印刷費は執筆者の実費負担とする。

#### 付 則

1. この規定の改正は、教授会の議決を経て行う。

## エラータ

『城西大学経営紀要』16に記載ミスがありました。お詫びして訂正いたします。なお城西大学機関リポジトリ JURA 配信の PDF 版は修正して配信しています (2020.6.2 更新)。

[https://libir.josai.ac.jp/il/meta\\_pub/G0000284repository\\_JOS-18801536-1606](https://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository_JOS-18801536-1606)

該当ページ	箇所	誤	正
178 ページ	5 行目	池間	池谷
178 ページ	31 行目	池内	池谷
178 ページ	31 行目	昌子	晶子

城西大学経営紀要 (16), 157-181, 2020-03

DOI : [info:doi/10.20566/18801536\\_16\\_157](https://doi.org/10.20566/18801536_16_157)

石井龍太「首里城正殿の屋根変遷」

### 執筆者紹介（本号掲載順）

- 佐々木 達也（本学経営学部 准教授）  
篠原 康男（本学経営学部 助教）  
石倉 恵介（本学経営学部 教授）  
櫛部 静二（本学経営学部 教授）  
平塚 潤（本学経営学部 准教授）  
高柿 健（本学経営学部 准教授）  
長澤 淑恵（本学経営学部 准教授）  
山口 理恵子（本学経営学部 准教授）  
千葉 佳裕（本学経営学部 准教授）  
二橋 元紀（本学経営学部 准教授）  
東海林 毅（本学経営学部 助教）  
難波 秀行（日本大学理工学部 准教授）  
北 徹朗（武蔵野美術大学身体運動文化研究室 教授）  
小林 勝法（文教大学国際学部 教授）  
柴沼 真（本学経営学部 准教授）  
辻 智佐子（本学経営学部 教授）  
辻 俊一（株式会社 NHK 文化センター）  
渡辺 昇一（東京弁護士会）  
石井 龍太（本学経営学部 准教授）  
小野 正人（本学経営学部 非常勤講師）

## 編集後記

2020年度は、新型コロナウイルスに翻弄された1年であった。東京オリンピックの2021年への延期、また、経済対策と新型コロナ感染対策と両立の難しさが明確となった年度であった。そして、特筆すべきは国の予算が経済対策、新型コロナ対策を盛り込み巨額になったばかりでなく、財源の確保が国債発行で行われた。困難な状況下にあっては政府の役割が重要であることが再確認できた反面、アフターコロナの政府の経済活動や日本経済・世界経済はより一層の厳しさが到来しそうなことも予感させる。

大学にとっても大きな環境変化を迎えた年であった。対面授業が当たり前であったのが、今年度は、前期のオンラインでのZoomやTeamsを利用したリアルタイム講義やオンデマンド講義から始まり、後期には対面とオンラインを併用したハイブリッド授業も実施された。第17号に投稿された論文等は、このような環境変化を記録しておくにふさわしいものばかりでなく、スポーツ分野が本学における教育研究に新たな道筋を開いてくれることを感じさせてくれる。

最後に忙しい学務の合間をぬって投稿してくださった先生方と手間のかかる査読を引き受けくださった先生方には、この場を借りて謝意を表したい。

### 編集委員

柳下正和（編集責任者）、石井龍太、井田浩之

## 城西大学経営紀要 第17号

---

令和3年3月31日 発行 （非売品）

編集者 城西大学経営紀要編集委員会  
発行者 城西大学学長 藤野陽三  
印刷者 株式会社 外為印刷  
発行所 城西大学  
埼玉県坂戸市けやき台1-1  
TEL 049-286-2233 (代)  
〒350-0295

---

© 2020 城西大学

# JOSAI MANAGEMENT REVIEW

Vol.17 No.1 March 2021

## Articles

The Impact of COVID-19 Pandemic on University Sports  
in Japan and Josai University's Response

..... Tatsuya Sasaki ( 1 )

The Current Situation of Health Awareness  
and Exercise of Students under the Declaration of a State of  
Emergency over COVID-19 at Josai University

Yasuo Shinohara, Tatsuya Sasaki  
Keisuke Ishikura, Seiji Kushibe  
Jun Hiratsuka, Ken Takagaki

.....Yoshie Nagasawa, Rieko Yamaguchi ( 21 )  
Yoshihiro Chiba, Genki Futatsubashi  
Takeshi Tokairin, Hideyuki Namba  
Tetsuro Kita, Katsunori Kobayashi

Consideration following a Survey on Sports Injuries  
and Medical Support Systems in University Athletic Clubs

Genki Futatsubashi, Seiji Kushibe  
..... Yoshie Nagasawa, Yoshihiro Chiba ( 43 )  
Takeshi Tokairin, Makoto Shibanuma

Examining the Effects of Off-the-Pitch Activity on  
Competitiveness in a College Soccer Team.....Takeshi Tokairin ( 69 )

The Memorandum of Intermediate Organizations, Publicness,  
and Institutions in the Information Society:

Thinking about the Information Society in the Face  
of New Coronavirus (COVID-19) Problem in 2020..... Chisako Tsuji  
Shunichi Tsuji ( 87 )  
Shoichi Watanabe

## Educational Practice Research

The Trial of Face-to-Face and Online Hybrid Lecture  
on Large-group Class.....Ryota Ishii (125)

How well do College Students Understand Basic Knowledge?  
A Study Based on the Short Quizzes in Freshman Class.....Masato Ono (159)

**Faculty of Management, Josai University**

1-1, Keyakidai, Sakado-shi  
Saitama, JAPAN